



つなぐ



小中一貫教育推進コーディネーター

第2回 生徒会・児童会 Zoom 交流の実施

2025年1月29日(金)、西南小・南小の児童会、三中の生徒会のメンバーで、今年度2回目となる、Zoomでの交流会を実施しました。交流した内容は以下の3つです。

- ① 12月に取り組んだ、小中合同あいさつ運動のふりかえり
- ② それぞれの学校での取り組みの交流
- ③ 来年度、児童会・生徒会で一緒に取り組んでみたいこと

交流会の中で、出てきた意見を下に載せます。

<小中合同あいさつ運動のふりかえり>

- ・中学校の人もあいさつをしてくれて、とても気持ちがよかったです。また機会があればやりたいです。(西南小6年生)
- ・あいさつ運動であいさつをしていると、たくさんの人が笑顔で返事をしてくれて、とても嬉しかったです。そのおかげで、あいさつの大切さがよくわかりました。(西南小5年生)
- ・あいさつ運動は、みんなが元気よく、あいさつをしてくれたりして、朝から気分がよくなるから、これからも続けたいと思いました。(南小6年生)
- ・小中学生が協力し合ったことが、とても良い経験になり、一番印象に残っています。のぼりの応募も多くて嬉しかったです。(南小5年生)
- ・私は、小学校に行きましたが、みんな笑顔で、あいさつをしてくれる子が多かったので、元気をもらえました!(三中1年生)
- ・思ったよりもたくさんの人があいさつをしてくれました。小学生は大きな声であいさつを返してくれたので、嬉しかったです。(三中2年生)

<来年度、児童会・生徒会で一緒に取り組んでみたいこと>

- ・もう一度、一緒にあいさつ運動をしたいです。(西南小6年生)
- ・ドッチボール大会がしたいです。(西南小5年生)
- ・もう一度、あいさつ運動などをしたいです。そして、赤い羽根募金を一緒にしてみたいです。(南小6年生)
- ・学校で祭りなどをして、一緒に遊びたいです。(南小5年生・4年生)
- ・学校かくれんぼなど、得意・不得意が関係ないもので、みんなが楽しめる交流がしたいです。(三中1年生)
- ・地域との交流を大切に、今年度企画していた、地域清掃などのイベントをしてみたいです。(三中2年生)

意見が多かったのが、「来年度も小中合同あいさつ運動をやりたい」ということでした。交流会の場では、来年度も、今年制作した3つののぼりを使って、あいさつ運動に取り組んでいくことを確認しました。また、「来年度、児童会・生徒会で一緒に取り組んでいきたいこと」については、上記にもあるように、さまざまなアイデアが出てきました。来年度、これらの意見をもとに、さらに小学校・中学校が一緒になってできる取り組みを考えていきましょう。



三中での Zoom 交流会のようす

図工科乗り入れ教員による授業の実施

1月末、第三中学校の美術科教員で、西南小・南小6年生の図工の授業にT2(小学校の先生のサポート)で乗り入れ授業を行っている教員が、「デッサンの授業」を両小学校で行いました。この授業を実施するきっかけとなったのが、小学校の先生との会話の中で「図工の授業で影の描き方をどのように教えるのか?」という話題が上がったそうです。小学校では影の描き方を学習しないそうなのですが、中学校では影の描き方を学びます。今回は、乗り入れ教員が、影の描き方を小学校版にアレンジして授業を行いました。

以下、授業で実際に使用したスライドなどを載せて、授業の紹介をします。

① 今日の内容は「デッサン」
目標は「色の濃さを調整して、影を描こう」です。

西南小での授業のようす

② リアル!本物そっくり!
本物そっくりに描くにはどうすればいいのでしょうか?

③ 本物そっくりに描くには、「影の描き方」がポイントです。

④ いちばん暗くなる場所
暗くなる場所、少し明るくなる場所に注意して描いてみましょう。
光が机で反射して、少し明るくなる場所

【練習】光の位置を考えて、影を描いてみよう。(立体と地面の2か所)

⑤ 説明を受けて、実際に演習に取り組みました。

⑥ ヒトの形に治める。ヒトの消ゴムを使う
影の描き方のヒントを提示しています。

⑦

できあがった作品を前の電子黒板に写し、クラスのみなどで共有しました!
みんな真剣に、集中して取り組んでいました。

⑧ 今日の内容
⑨ 身近なアイテムに変身!

立体図を立体に!

影のつけ方が分かれば、難しい物も描けるようになることをまとめとして、授業が終わりました。今回の学びが、中学校につながってほしいですね。